

ヒプノバーシングと出産における家族の役割

ヒプノバーシングは出産における家族の役割の重要性を認めています。それはお母さんと赤ちゃんだけの家族かもしれませんが、初めての赤ちゃんを迎える夫婦、あるいはすでに1人以上の子どもがいる家族かもしれません。そして同様に、出産立会人も、それが父親であっても、親戚でも、パートナーでも友人でも、出産準備と実際の分娩において、重要な役目を果たすのです。

ヒプノバーシングでは、出産は男性と女性の自然な性的能力の延長上にあるものという見方をしており、したがって、出産とは彼らのものであると信じています。家族で成し遂げるものなのです。

何世紀もの間、出産における男性の役割を徐々に排除し、人生の最も偉大で重要な経験の傍観者に押しやってきたプログラミングから男性を解放するのです。新しい小さな子どもを自分の家族そして自分の人生に迎え入れ、赤ちゃんのために最も安全で快適な出産を実現するという責任を引き受けるのです。

出産に臨む家族にとって、出産は科学ではありません。生体構造に関することでもなく、医者や助産師や看護師に関するものでもありません。誰がコントロールしているかでもありません。これは家族、つまり両親と赤ちゃんに関することなのです。

出産とは自分たちのものであるという信念、そして親になるということは人生を変えるような素晴らしい経験であるということを受け入れている両親にとって、本当は『どのように出産するか』ということは教わる必要がないのです。『出産について』学べばいいだけのことなのです。

体が痛みをもって反応する原因となるストレスや恐れから心が解放されると、自然はさまざまな正常な生理学的機能を自由に作用させるのと同様に、出産も自由にその経過をたどるのだということが分かればよいのです。

今なお、多くの出産が医療機関で行われているという事実にもかかわらず、ヒプノバーシングでは出産は医学的な出来事ではないと考えます。健康な妊婦は、病気でも具合が悪いわけでもありません。母体が最高に素晴らしい自然の機能、つまり出産を行っているだけのことなのです。

ヒプノバーシングとは共同的な出産方法であり、代替手段ではありません。このプログラムの理念は医学的介入そのものを排除するものではありません。「仕事を片付けるた

め」という無神経とも言える便宜さのためだけに行われる型どおりで独断的な、あるいは不必要な医学的介入を排除するものです。

不必要な介入は、人生を共にしていこうとする家族の役割の重要性をまさに開始直後から妨害するものです。自分自身と赤ちゃんのために穏やかな自然分娩を求めている家族の心の中に、このような生産ライン的な思考方法が入り込む余地はありません。

純粹に特別な状況により、出産が予想外の方向へと発展し、ハイリスクの分類に入ってしまった家族も含め、あらゆる家族にとって、ヒプノバーシングを用いた出産準備は有意義なものです。

分娩過程が計画していたようには進まず、医学的介入や場合によっては手術が必要となった場合でも、残されている選択肢を検討し、状況を判断し、十分な情報を得たうえでの決断を行うにあたり、ヒプノバーシングによって親たちは落ち着きを保ち、リラックスし、状況を管理することができるのです。

リラックスして落ち着いた態度は、母親の回復を容易にし、回復期間中に必要な薬も減らすことができるのです。大多数の女性にとって出産とは自然で健康的なものであるとヒプノバーシングのプラクティショナー達は信じています。